



令和 8 年 7 月号

この号の内容

亘理消防署

1. 『ボート運用訓練』
『水難救助訓練』
2. 今年も暑い夏がやってくる!?
～熱中症に注意しましょう～
3. 夏に発生しやすい事故から
身を守るには！

山元分署

4. 夏休み期間中の水難事故に
ご注意ください！
5. 「予防救急講習会」を
開始しました
6. 住宅用消火器を知ろう！
～いざという時の安心のために～

亘理消防署だより

【広報誌】

『ボート運用訓練』

『水難救助訓練』

夏シーズンを迎えるにあたって、亘理消防署では水難事故に対応するため、令和8年5月18日、19日の2日間にわたって「ボート運用訓練」と「水難救助訓練」を実施しました。

『ボート運用訓練』



溺れている人がいるとの情報により、阿武隈川流域をボートに乗って搜索開始。
要救助者(溺れている人)を救出し、陸上の隊員と連携して搬送し救出完了！！！！

『水難救助訓練』



要救助者に、浮力のあるロープ付きバックを投げて、バックにつかまるよう指示。後はロープを手繰り寄せて救出します。



要救助者を担架(浮力あり)に乗せて、はしごとロープを使って陸上へ救出。



今年も暑い夏がやってくる！？

～熱中症に注意しましょう～



熱中症とは？

高温な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもることによって様々な症状がみられる状態を指します。

屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。

熱中症を防ぐためには、場所に応じた適切な対策を取ることが重要です。

『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう。

○熱中症のリスクが高い人

- ・乳幼児（体温調整未熟）
- ・高齢者（体温調整機能の低下）
- ・持病を持つ人
- ・炎天下で活動する人（運動部、作業員など）



○環境

- ・屋外活動（運動・部活動・作業）
- ・室内（エアコンを使わない部屋）
- ・高齢者や乳幼児の生活環境



○予防の基本

- ① 水分補給
- ・のどが渇く前にこまめに飲む
 - ・汗をかいたら塩分も補給（スポーツドリンクや経口補水液）



- ② 環境を整える

- ・室内: エアコンや扇風機を利用
- ・屋外: 日陰、帽子や日傘を利用



- ③ 体調管理

- ・睡眠や食事で体調を整える
- ・無理をしない、休憩を取る
- ・暑さに慣れる（暑熱順化）



○熱中症が疑われるときの応急処置

- ・涼しい場所へ移動する
- ・衣服をゆるめ、体を冷やす（首・わき・足の付け根）
- ・水分や塩分を補給（※意識がある場合のみ）



○重症度と症状

軽 めまい、たちくらみ、生あくび、大量の発汗

頭痛、嘔吐、倦怠感

集中力低下や判断力の低下

重 意識障害

こんなときは
ためらわずに救急車を呼びましょう。



- ・意識がおかしい
- ・自分で水分が取れない

○総務省消防庁 熱中症対策リーフレット URL

https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/items/heatstroke003_leaflet.pdf

夏に発生しやすい事故から 身を守るには！

花火による事故や怪我(けが)を防ぐために

- ① 子供だけでは絶対に遊ばない！必ず大人と一緒に遊びましょう！
- ② 「SF マーク」がついた安全な商品で遊びましょう！
- ③ 風の強い日に花火はやめましょう！
- ④ 遊び終わった花火は水の入ったバケツで消しましょう！



(消費者庁イラスト集より)

リチウムイオン電池による事故や怪我(けが)を防ぐため

昨今、モバイルバッテリー等の外出先でも充電が出来る製品が普及しています。これらの製品にはリチウムイオン電池が使用されており、便利な反面、重大な事故に繋がることがあるため、以下のことに注意しましょう。

【火災を起こさせないためには・・・】

- ① 安全性の基準を満たしている「PSE マーク」がついている製品を使用しましょう。
- ② 充電をする際は、付属されている充電器やメーカー指定の製品を使用しましょう。
- ③ 充電しても満タンにならない、充電しても使用時間が短くなった、充電中に発熱するなどの異常を感じたら、使用を中止しメーカーや販売店に相談しましょう。
- ④ 使用しなくなった製品は自治体の可燃ごみや不燃ごみに混ぜて捨てるのではなく、事業団体が回収するリサイクルで処分しましょう。
- ⑤ 強い衝撃や圧力は加えないようにしましょう。

※もし、お使いのモバイルバッテリー等から出火した場合は**消火器**
や**大量の水が入ったバケツに入れて消火**すると効果的です。



(消費者庁ホームページより引用)

夏休み期間中の水難事故にご注意ください！

山元町には、ため池や農業用水路、河川、海岸など、水辺が多く存在します。

夏休み期間中は、子どもたちが水辺に近づく機会が増え、水難事故の危険性が高まります。

水の事故から大切な命を守るため、以下の点に十分ご注意ください。



- * ため池や農業用水路には近づかないでください。フェンスは絶対に乗り越えないでください。
- * 河川や海岸でのレジャーは、必ず保護者同伴で。子どもだけで水辺に行かせないでください。
- * 天候が悪い日や増水時は、絶対に水辺に近づかないでください。
- * 飲酒後の水泳は大変危険です。
- * ライフジャケットを着用するなど、安全対策を徹底しましょう。



かけがえのない命を守るため、一人ひとりが水難事故防止の意識を高めましょう。

ご協力をお願いいたします。

「予防救急講習会」を開始しました

近年、救急出場件数は増加しており、その中には日頃の注意や正しい知識によって防ぐことができるものも多くあります。

「予防救急」とは、けがや急病を未然に防ぎ、救急車を必要とする事態を減らす取り組みです。

講習会では、家庭内や日常生活で起こりやすい事故・急病について、わかりやすく説明します。

講習内容

高齢者の転落・転倒

高齢者に多い転倒事故について、自宅内での危険箇所や予防のポイントを学びます。

子供の溺水・窒息

家庭内で起こりやすい溺水事故や窒息事故を防ぐため、見守りのポイントや対応方法を説明します。

ヒートショック

冬場の入浴時などに起こる急激な温度変化による体調不良を防ぐ方法を学びます。

熱中症

屋外だけでなく室内でも発生する熱中症について、予防方法や注意点を紹介します。

「救急車を呼ぶ前に防げる事故を減らしたい」「家族や地域の安全について学びたい」

そのような方は、ぜひご活用ください。

詳しい内容や申込み方法については、岩沼消防署又は亘理消防署までお問合せください。





住宅用消火器を知ろう！



～いざという時の安心のために～

住宅用消火器とは・・・

○サイズ・重量

- ・小さくて使いやすく、火元を狙いやすい。

○種類が豊富

- ・粉末タイプと強化液タイプがある。

・エアゾール式簡易消火具

(エアゾール式簡易消火具とは、消火薬剤を液化ガス又は圧縮ガスの圧力により噴霧状に放射して消火するものです。家庭内で発生する、比較的初期段階の火災に有効です。)

- ・適応する火災が絵で表示されているので必要な用途のものを設置できる。



○点検の有無

- ・点検の必要なし。
- ・使用期限があるため、期限が切れたら新しいものと交換しましょう。

使用方法・・・

- 安全栓を引き抜きます。

- 火から 1.5～2m 離れ、ノズルを火元に向けます。

- 片方の手で消火器の底を持ち(またはホースの先端)、一方の手でレバーを力強く握ります。

- 煙等で見えづらくなっていますが、しっかり火元を狙って消火します。(小型の消火器で薬剤等約 15 秒間放出されます)。

- 避難経路を確保してから使用してください。
住宅用消火器は火災の初期段階に有効です。
消火器では対応できないほどの炎の場合はすぐに安全な場所に避難をし、119 番通報をしましょう。



住宅用火災警報器とは違い設置義務はありませんが、
この機会に設置を検討してみてください！